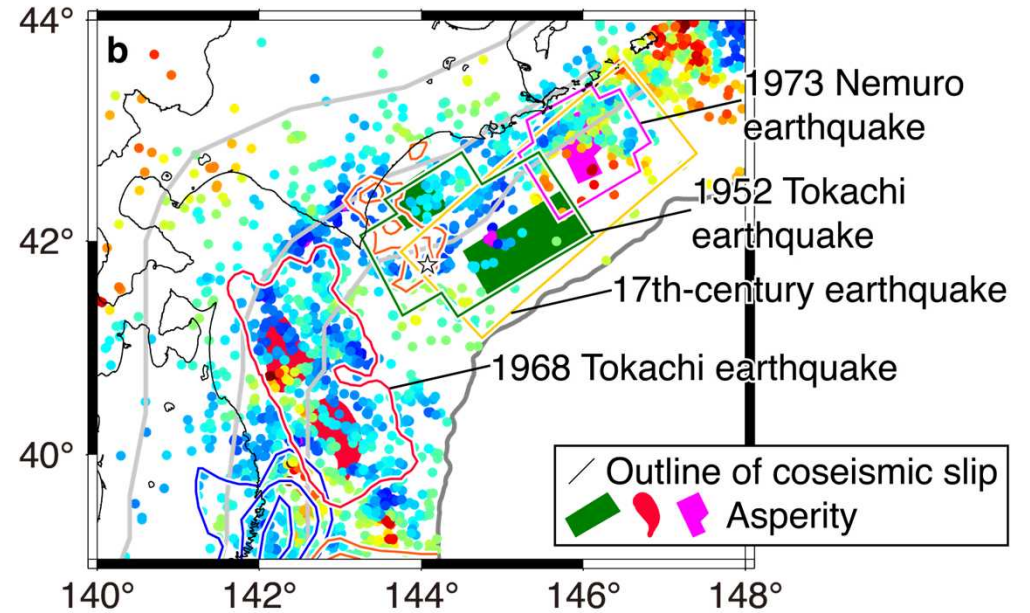
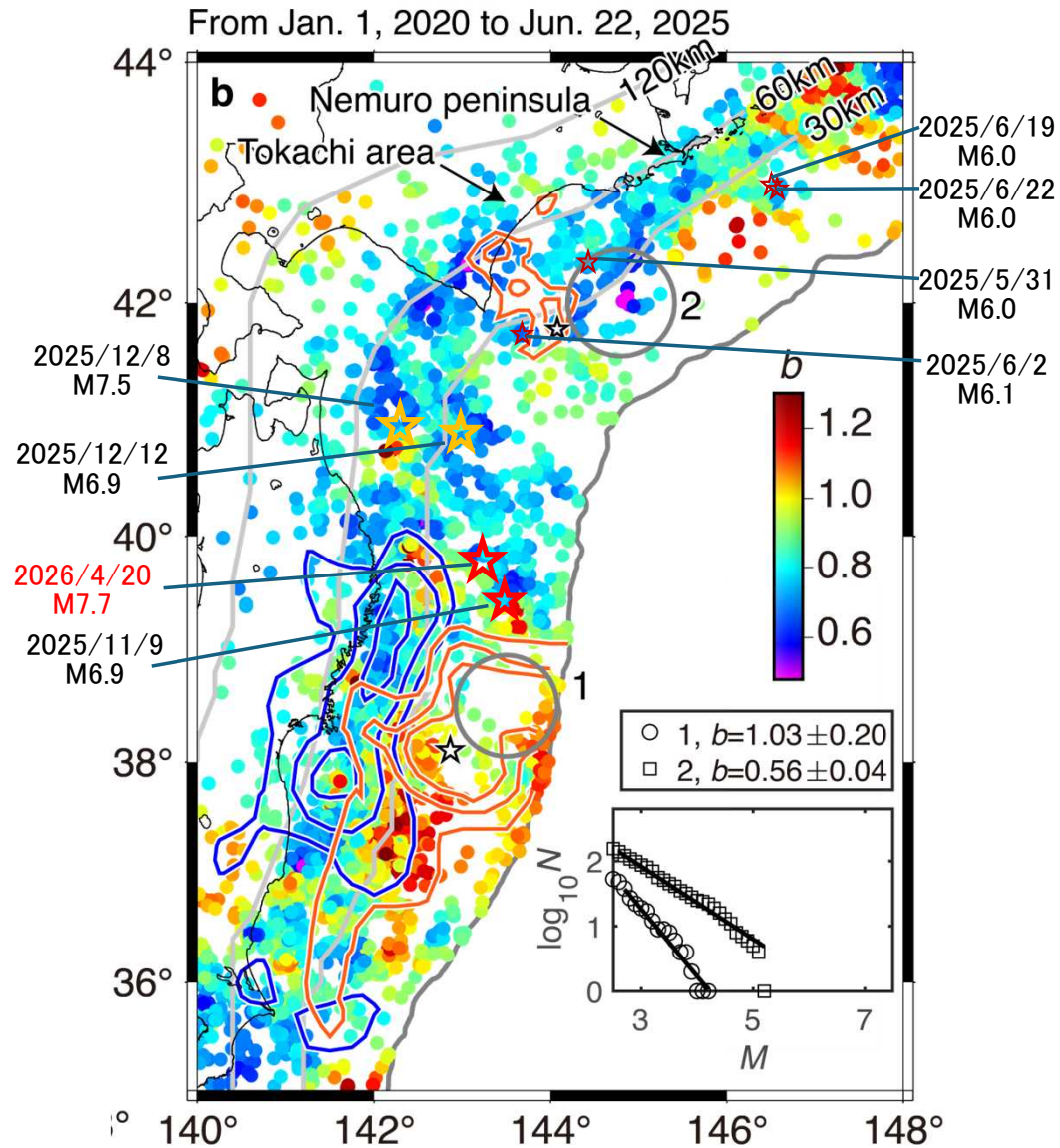


北海道・東北沖の地震のサイズ分布(b値)の時空間変化(続報)

資料15-2



・第241回地震予知連絡会(2023年11月30日)の重点検討課題ならびに第244回(2024年8月29日)のプレート境界の固着状態とその変化で報告した内容の続報¹⁾。

・2003年十勝沖震源域の東側の、1952年十勝沖地震で滑りの大きかった場所(■)²⁾付近のb値が特に低く、前回報告時同様0.5程度である。2025年5-6月には十勝沖～根室沖でb値の比較的低い領域でM6クラスの地震が発生した(☆)。その後もM5クラスの地震が発生。

・1968年十勝沖地震ならびに1994年三陸はるか沖地震の震源域³⁾のb値も前回同様に低い値(0.6程度)を保っている。2025年12月8日M7.5・12日M6.9もb値の低い領域で発生(☆)。

・2025年11月9日M6.9と2026年4月20日M7.7が発生した場所(☆)は、1968年・1994年の震源域の南東側に隣接しており、b値も同程度に低い値を示していた。

(b値の評価には2025/6/22までのデータを使用)

1) Nanjo et al. (2026, Comm. Earth Environ. <https://doi.org/10.1038/s43247-025-03075-6>).

2) Hirata et al. (2003, JGR, <https://doi.org/10.1029/2002JB001976>).

3) Yamanaka et al. (2004, JGR, <https://doi.org/10.1029/2003JB002683>).

2026/05/21

堀高峰@JAMSTEC・楠城一嘉@静岡県立大学